

研究助成制度 フォローアップ調査結果 (令和5年度実施)

令和6年4月

公益財団法人 日本食品化学研究振興財団

●調査方法等

• 調査方法

調査対象者に調査票を送付し、記入・返送分を集計するアンケート方式による調査

• 調査実施時期、経過

令和5(2023)年 10月～11月 : 調査票送付(回答締切は11月末)

• 調査対象

平成26(2014)～同30(2018)年度に研究助成を受けた132研究課題のうち、調査年度の前年度からの継続課題を除いた89課題を実施した89名の研究者

●回答状況

- 回答者：課題数：65名・65課題
- 回答率：73.0% (65/89)

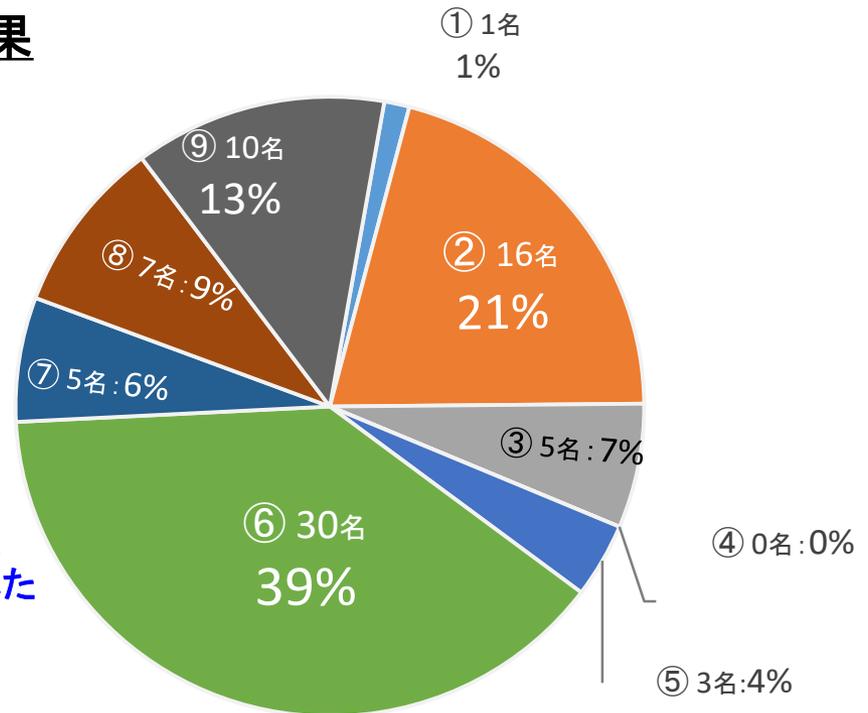
助成研究成果の活用状況(Q1, Q2)

複数回答(総回答数77件)

Q1: 助成研究成果がどのように活用されましたか?

Q2: 具体的な活用方法を記述してください(①~⑧、⑨については活用しない理由)

Q1結果



【選択肢】

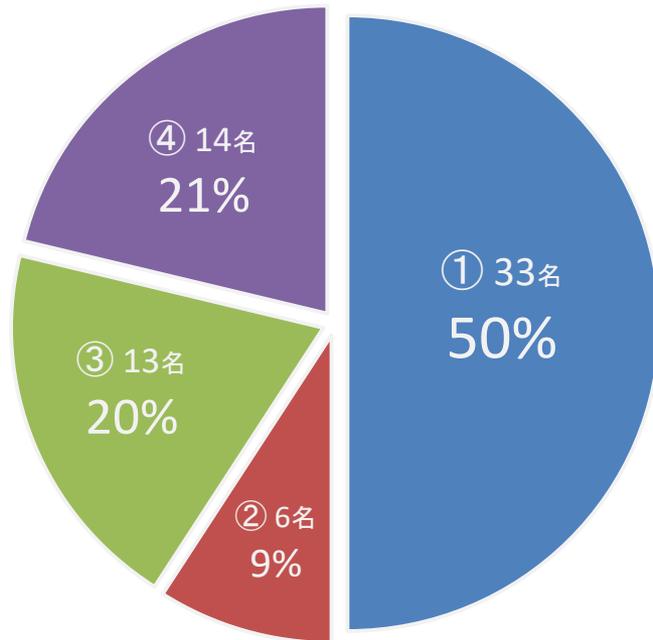
- ①商品化に成功した
- ②新たな分析、研究手法として活用した
- ③新たな合成、製造方法として活用した
- ④国、都道府県等の基準、ガイドライン等として活用した
- ⑤食品添加物、農薬等の安全性向上のために活用した
- ⑥より発展的な研究に応用した
- ⑦その他の活用を行った
- ⑧活用方法を検討中である
- ⑨特段の活用をしていない

* Q2:結果は非公開

論文投稿状況(Q3, 4)

Q3: 助成研究の成果について論文を投稿されましたか？

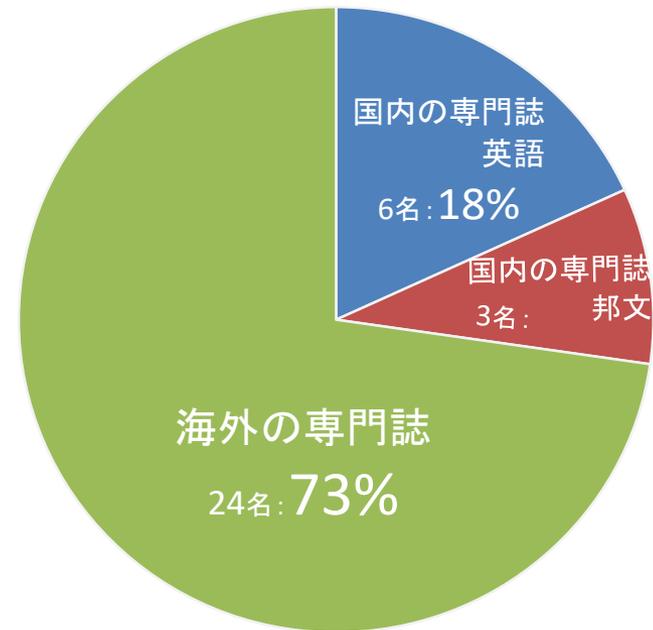
Q4: 具体的記述



【選択肢】

- ・ ① 投稿した
- ・ ② 投稿準備中(論文執筆中)
- ・ ③ 投稿計画中
- ・ ④ 投稿予定なし

Q4: 論文の投稿先について
(詳細は、次頁)



・論文投稿先誌名

<海外>

Arc. Biochem. Biophys., Biocatalyst Agr. Biotech., Biochim. Biophys. Acta-Mol. Cell Biol. Lipids, Eur. J. Pharm. Sci., Food Control, Food Res. Int., Food Sci. Nut., Int. Immunopharmacol., Int. J. Food Sci. Nut., J. Agr. Food Chem., J. Biotech. Biomed., J. Chromatography A, J. Food Biochem., J. Food Compo. Analysis, J. Food Qual., J. Funct. Foods, J. Liq. Chromat. Tech., J. Pharm. Sci., J. Photochem. Photobio., J. Physic. Chem. A, J. Physic. Chem. B., J. Virology, Mol. Nut. Food Res., Molecules, Nutrients, Pathogens, PLOS ONE, Frontiers Plant Sci., Toxins

<国内>

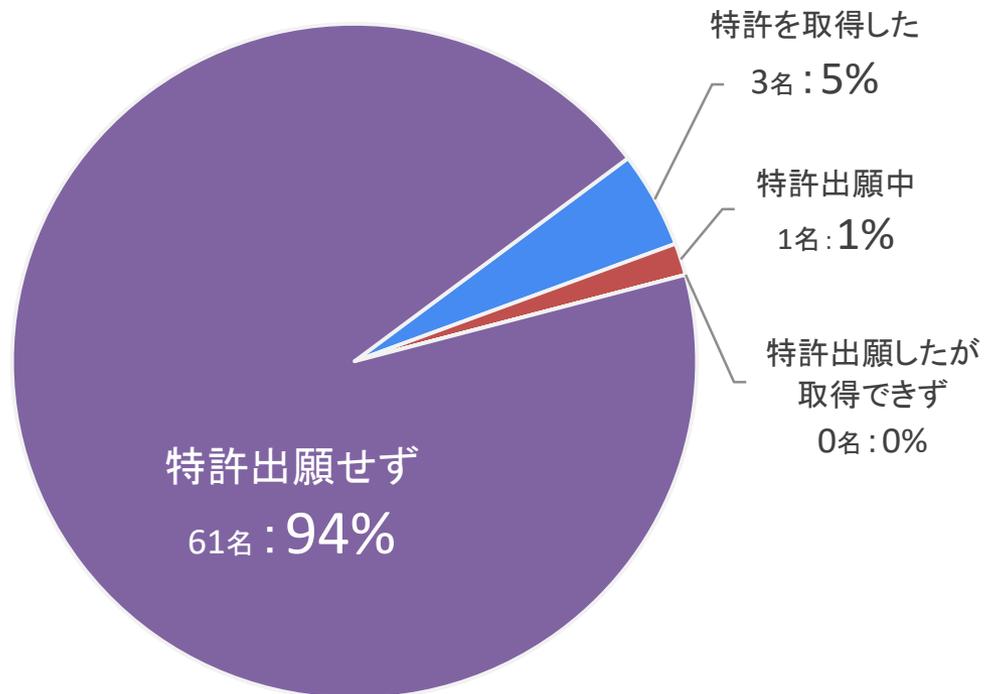
Biol. Pharm. Bull., Biosci. Biotech. Biochem., Food Sci. Tech. Res., Fundamental Toxicol. Sci., Jpn. J. Food Chem. Safety, J. Toxicol. Sci., Jpn. J. Food Eng.

日本栄養・食糧学会誌、触媒学会誌、日本ウイルス学会誌 等

特許取得状況(Q5, 6)

Q5: 特許等の取得状況

Q6: 具体的に記述

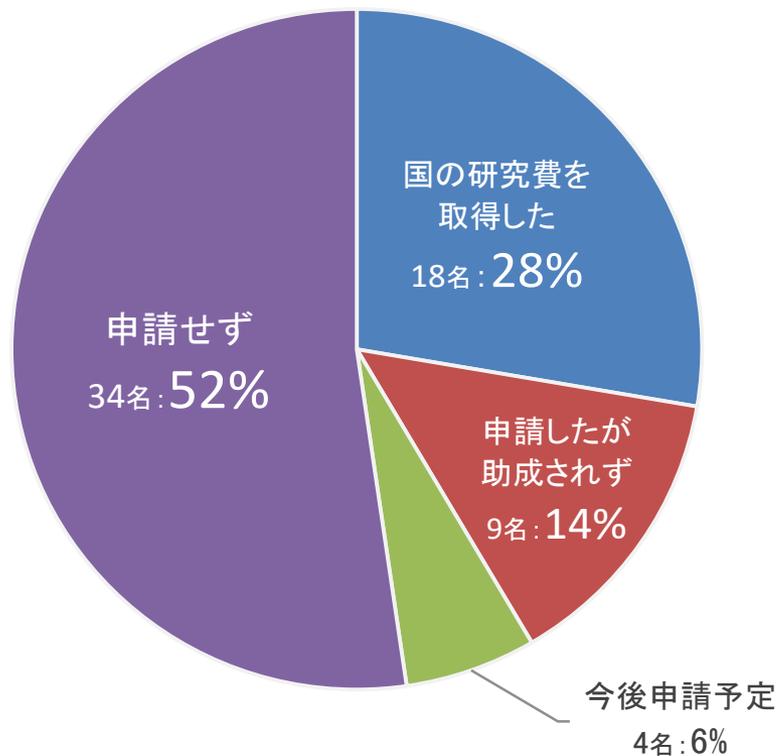


* Q6:結果は非公開

関連研究等での国の研究費取得状況 (Q7, 8)

Q7: 本研究テーマまたは関連のテーマでの国の研究費の取得状況についてお尋ねします。

Q8: 具体的に記述



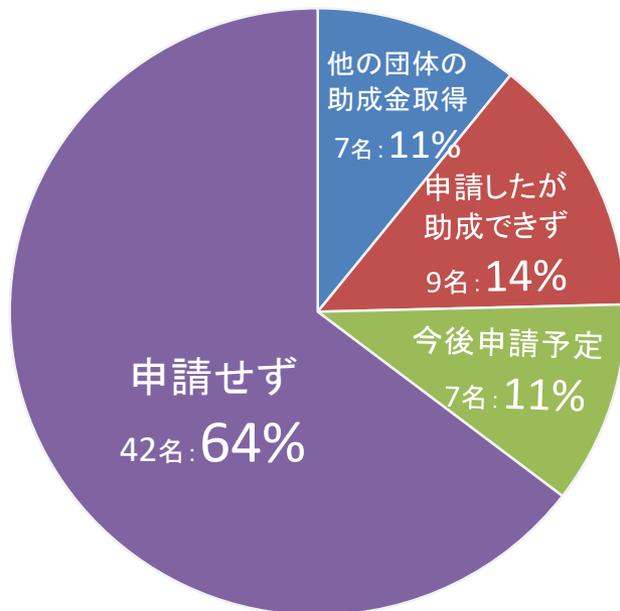
・取得した国の研究費

- ・科研費 14
～基盤(B) 5、基盤(C) 5 など
- ・内閣府、厚労省、JST 各1

関連研究等での他の助成団体からの 研究助成金取得状況（Q9, 10）

Q9: 本研究テーマまたは関連のテーマでの他の助成団体からの
研究助成金の取得状況についてお尋ねします。

Q10: 具体的記述

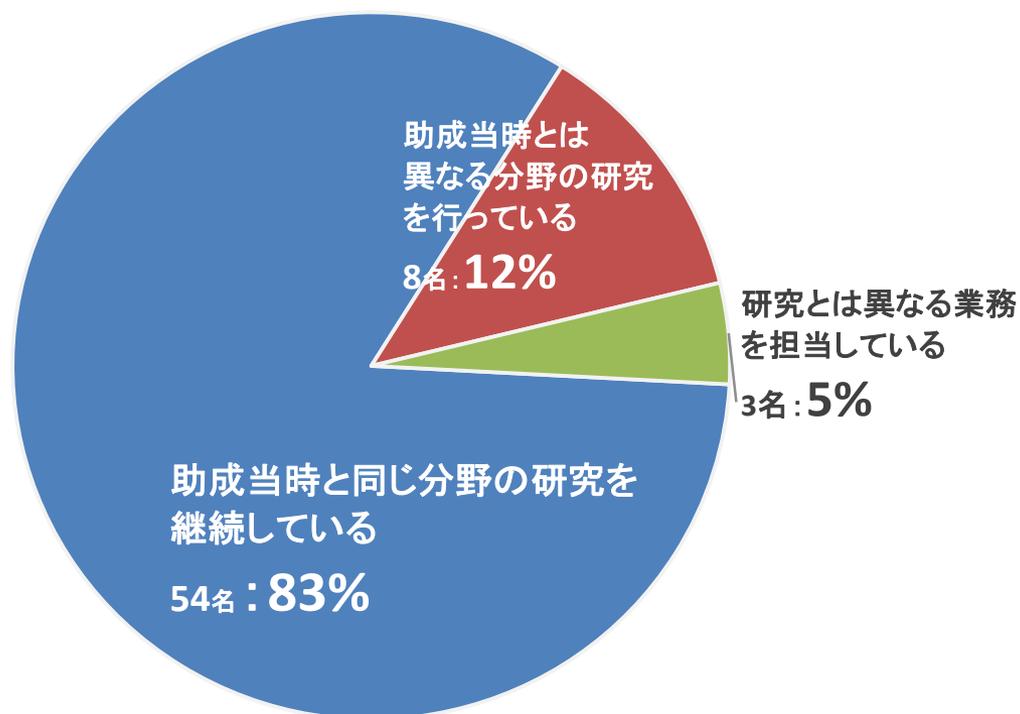


・助成を受けた団体

- (公財)アサヒグループ学術振興財団
- (公財)飯島藤十郎記念食品科学振興財団
- (公財)池谷科学技術振興財団
- (公財)鈴木謙三記念医科学応用研究財団
- (一財)東洋水産財団
- (公財)ニッポンハム食の未来財団
- (公財)不二たん白質研究振興財団
- 粉体工学情報センター
- (公財)三島海雲記念財団

研究分野の変化について(Q11)

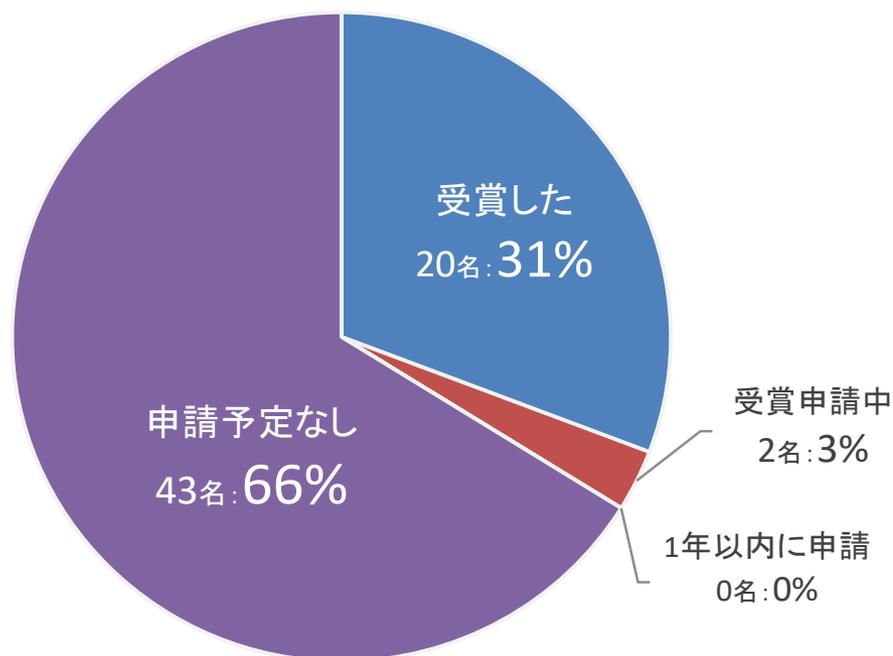
Q11: 研究分野の変化について



助成した研究及び食品化学関連研究の業績に対する表彰について(Q12, 13)

Q12: 助成した研究及び食品化学関連研究の業績に対する表彰について

Q13: 具体的記述

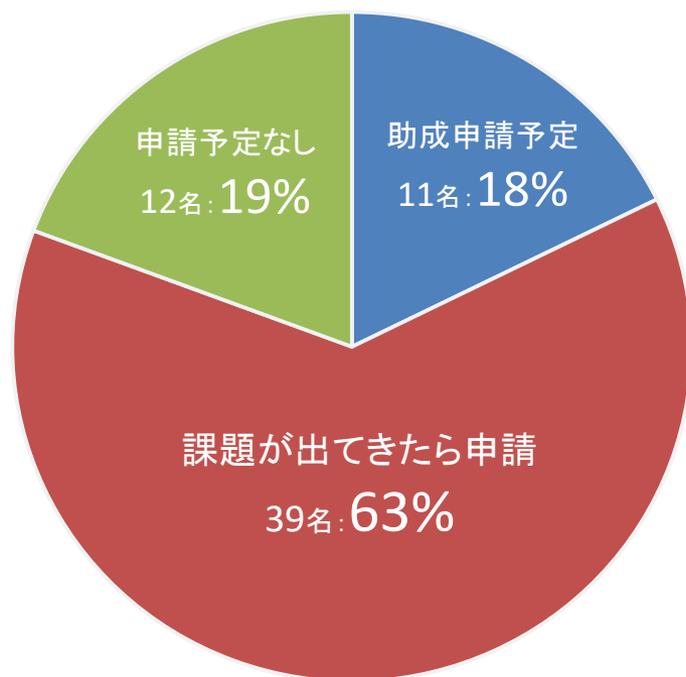


表彰名

- ・日本食品化学学会 奨励賞、論文賞
- ・日本食品科学工学会 功労賞
- ・日本栄養・食糧学会 学会賞、トピックス賞
- ・日本食品衛生学会 奨励賞、学術貢献賞
- ・日本食物繊維学会 学会賞
- ・日本食品工学会 特別功労賞
- ・日本環境変異原学会 研究奨励賞
- ・日本内分泌攪乱化学物質学会 優秀発表賞
- ・日本薬学会 支部奨励賞
- ・日本生薬学会 学術貢献賞
- ・日本農芸化学会 支部奨励賞、功績賞、トピックス賞
- ・日本ビタミン学会 若手海外優秀発表賞
- ・若手農林水産研究者表彰
- ・森永奉仕会賞
- ・日本食品工業会 論文賞 など

今後の当財団の助成を受ける予定 (Q14)

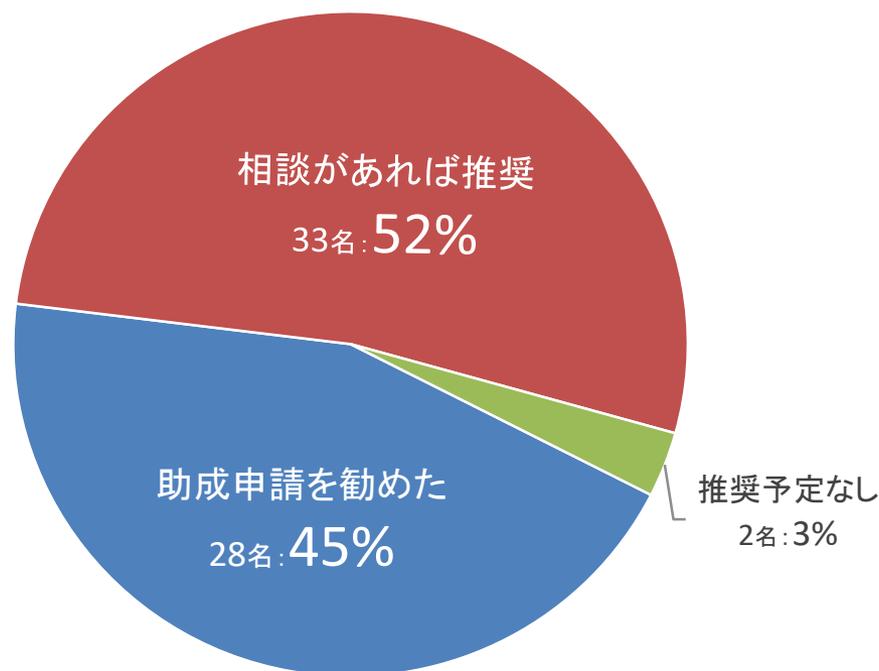
Q14: 今後の当財団の助成を受ける予定について



- ・助成申請を予定している 18%
- ・課題が出てきたら申請する 63%
- ・助成申請の予定はない 19%

他の研究者への当財団助成制度の推奨 (Q15)

Q15:他の研究者への推薦について



- ・他の研究者に当財団の助成申請を奨めた 45%
- ・今後相談があれば推奨する 52%
- ・推奨する予定はない 3%

当財団及び研究助成制度について、 ご意見があればお聞かせください(1/5)

- 本助成制度を有効に活用させていただきました。ありがとうございました。
- 助成いただいたテーマ、おかげさまでその後進展させていただいております。お礼申し上げます。今後も研究助成を続けていただけます様お願いいたします。アンケート電子ファイルでいただけますとありがたかったです。
- 貴財団のジャーナルを含めて、大変お世話になっております。是非、貴財団の助成制度を継続して、食品化学、食品工学の下支えして頂きたく存じます。
- 貴財団の助成制度は、食品化学分野の発展において必要とされる基礎研究、開発応用研究、安全性確保研究等の分野の我が国の研究者に助成を行うものである。近年、産業界においては、低コスト化や効率化等により、より収益性の高い事業の創出が求められるが、これらはすべて先人が努力の結果作り上げた基盤を改善・改良して成し遂げられる。食品産業においてもこのことは同一であり、基盤的、継続的な研究・開発が行われるからこそ次のブレークスルーが起こり得ると思う。よって、次世代を担う若手研究者や一見地味に見えるとしても長期的な展望に立った研究者への助成を特に継続してお願いしたい。
- 食育的なテーマも採択していただけるとたいへんうれしいです。
- 今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
- 研究成果として、昨年、論文の別刷を事務局宛にお送りしておりますので、ご確認いただければと思います。本研究を行うきっかけを与えて下さったことに(本研究を始めるための初期費用を助成いただいたことに)改めてお礼申し上げます。
- 小職は〇〇〇〇が専門であるが、食品関連の貴財団から助成頂いたことに大変感謝しております。

当財団及び研究助成制度について、 ご意見があればお聞かせください(2/5)

- 毎年20件を超える多くの研究、しかも分野も多岐に渡っており、大変心強い。また、採用された課題は内容によっては延長申請できることや、同一の研究者が一定のブランクをおいた後に再応募できる点は、研究費の獲得に苦勞している現場の人間にとって励みになり、大きなモチベーションを与えて頂いている。
- 食品化学というターゲットを絞った研究助成であることから、科研費などでは採択されにくい研究であっても評価していただける貴重な助成制度であると感じています。大変感謝しております。ありがとうございました。
- ご助成いただきましたこと、あらためまして感謝申し上げます。
- 用途の制約の少ない助成は、研究者にとり、大変ありがたい。また、研究助成への応募は、自らの研究を振り返り、課題を整理するよい機会である。引いては、それが食品化学(食品科学)研究の底上げに繋がると考える。さらに、助成に採択されたことは研究に対する意欲を高揚させるので、今後とも本助成を継続していただきたい。
- 研究発展に際し、有意義に使用させていただきました。ありがとうございました。
- なるべく若手研究者への助成がなされること 期待します。(大学では、中・大講座制となり研究単位が少数となっているため。)
- 食品の基礎研究を支援して頂き、大変感謝しております。また機会があればお世話になりたいです。よろしく願い致します。
- 大変ありがたい助成で、関係分野の研究者、とりわけ若手研究者の育成に役立っていると思います。
- 学会などに情報収集(発表無し)として参加する際の参加費や旅費にも助成金を支出できるようにしてもらえると、研究遂行の上で助かります。
- 貴財団には30代前半にサポート頂いたおかげで、今の研究がつづけられている。益々のご発展を祈念致します。

当財団及び研究助成制度について、 ご意見があればお聞かせください(3/5)

- 平成〇年に採択していただき、自分の裁量で使用できる研究費を得られたことは大変ありがたかったです。是非、若い研究者の支えとなる助成制度を継続していただきたいです。
- 基礎的な分野への理解があり、助成金の使途についても理不尽な制限がないので、のびのびと研究を遂行できる助成金であると考えます。その意味で、大変有り難く思っています。
- 助成金をいつもご提供いただき感謝しております。今後も食品化学分野の研究が発展するようにご協力いただきたいと考えています。
- 財団の助成金は、自由に使用出来、新しい研究のトライアルに使えることが、非常にありがたい。新しい研究は、「やってみないとわからない」要素が大きく"トライアンドエラー"の繰り返しがあるが、挑戦することの大切さを支援していただける点で貴財団の助成制度は、魅力的である。可能であれば、研究期間を長くして欲しい。
- 少ない研究費で研究していたが、貴財団のサポートで、通常以上の実験規模で研究が可能となった。研究成果を出すには時間がかかるが、将来の論文発表につなげていきたい。ありがとうございました。
- 昨今の厳しい財政難のなか、貴財団におかれましては多大な研究助成をいただき感謝申し上げます。引き続き助成金を獲得しにくい基礎研究の助成にもご援助いただけますと幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。
- 連続して採択して頂いたことに大変感謝致しております。改めてお礼申し上げます。制度に関してですが、例えば研究費助成を何らかの「賞」という名称にして(初回採択時のみ)、それに付随した研究助成という名目にして頂ければ、若手の研究者にとっては自身のプロモーションの際に、受賞歴として記載することができるので、ありがたいのではないかと思います。一意見として申し上げます。ありがとうございました。

当財団及び研究助成制度について、 ご意見があればお聞かせください(4/5)

- 十分な研究成果は得られなかったが、色々な乳化剤を試すことができ、研究助成を受けて、経費的に助かった。あらためて感謝申し上げます。
- 貴財団の助成制度へ応募し、採択されたことを機会に私個人の研究の幅が広がり、新たな分野へ挑戦する契機となりました。心より感謝申し上げます。
- 科研費や企業との共同研究ではあまり対象とならないようなテーマにとりくめるような環境があれば新たな発見など期待できると思います。
- 研究費の継続申請制度があり、研究を発展させることができ、今も研究を継続中です。また、年齢制限がないことも大変有難いです。心より感謝申し上げます。強いて申し上げるなら、論文投稿が予定通りに進まなかったり、急に実験装置が故障して修理費が必要になることがあるので、今後、研究費を助成期間内に使い切らなくても良い(例えば、助成期間+3年以内など)制度ができることを期待いたします。
- 今後とも国内の食品科学に関する研究に対して、惜しみないご理解とご助成をいただけることを願っております。
- 若手研究者向けの助成枠を設けていただけたら幸いです。
- 助成をいただき、まことにありがとうございました。おかげさまで研究を発展させることができました。貴財団の益々の御発展を念じております。

当財団及び研究助成制度について、 ご意見があればお聞かせください(5/5)

- 日本食品化学財団より、2年間の継続で研究を支援いただきました。研究は短期間で終わるものではないため、長期的なご支援は研究者の立場から大変助かりました。改めて、感謝申し上げます。ありがとうございました。
- 贈呈式を含めありがたいの一言です。ただこのようなアンケートはWord等としていただけると助かります。悪筆のため。
- 継続して頂きたい。
- 本研究の黎明期に2年連続で研究助成をいただき、大変感謝しております。おかげさまで現在では、製品化が視野に入るほどに研究を進めることができました。元々の専門が食品化学からは遠く、食品分野の研究を実用化につなげる知識が乏しかったのですが、懇親会などでも審査員の諸先生方からご助言をいただきましたことも、大変参考になりました。
- 今後も是非続けていただきたい。
- なかなか採用されない様を感じています。採用率を公表して頂けるとありがたいです。
- 助成をいただいて大変助かったので、引き続き助成制度を維持していただきたい。
- 多くの領域の研究者をサポートする素晴らしい制度と存じております。（以上）